

北里大学病院・北里大学東病院(旧)を受診された患者さまへ

当院では下記の臨床研究を行っています。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお申し出ください。

研究課題名 (受付番号/承認番号)	がん化学療法施行時の抗がん薬並びに制吐剤による便秘の発生状況の後方視的観察研究 (B22-132)
当院の研究責任者 (所属・職位)	北里大学病院薬剤部 一般職 / 北里大学薬学部 薬物治療学 助教 東山 倫子
他の研究機関および各施設の研究責任者	なし
本研究の概要・背景・目的	<p>がん化学療法の有害事象として悪心・嘔吐を伴うことがあり、多くの場合、制吐剤を用いて症状の発現を予防します。</p> <p>しかし、これらの制吐薬は消化管運動抑制作用をもつため、投与後に便秘を発症することが知られています。便秘を発症すると単におなかが苦しいだけでなく、腹部膨満感から食事摂取量が低下するなど、患者さまの生活の質の低下が起きることが知られています。また、治療内容により便秘の発生頻度は数%～90%と多岐にわたる一方、がん化学療法施行時の便秘に対する方針等は示されておらず、適切な対策は確立していないと考えられます。</p> <p>そこで今回、北里大学病院でがん化学療法を施行された患者さまを対象に便秘の発生状況について調査を行い、便秘リスクの高いレジメン、制吐薬、患者背景を把握し、得られた情報をもとに便秘予防のための支持療法の検討を行うこととしました。</p>
調査データ 該当期間	2020年10月1日から2022年9月30日までの情報を調査対象とします。
対象となる患者さま	上記期間中に北里大学病院にてがん化学療法が施行された患者さま
研究の方法 (使用する試料等)	<p>利用する情報</p> <p>2020年10月1日から2022年9月30日までの電子カルテに記載のある診療記録、検査データを利用します。</p>
試料/情報の 他の研究機関への 提供 および提供方法	他の機関への試料・情報の提供はありません。
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	今回の研究実施にあたっては、学内研究費を使用しております。また、本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。研究に関する利益相反は、北里大学利益相反委員会で審査を受け適切に管理されます。
お問い合わせ先	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。</p> <p>ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。</p> <p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究の対象としないので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</p>

ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には提供していただいた試料・情報に基づくデータを結果から取り除くことができない場合がありますが、公表される結果には特定の個人を識別することができる情報は含まれません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:

所属・職位:北里大学病院薬剤部 一般職 / 北里大学薬学部 薬物治療学 助教

担当者:東山 倫子(ヒガシヤマ トモコ)

電話:042(778)8123(北里大学病院薬剤部)、042(778)8089(北里大学薬学部)

備考